

# 定例会 主な議決議案の内容

定例会で議決した主な議案の概要をお知らせします。どの議案も原案のとおり可決しました。

## ■新たにコミュニティセンターを2カ所設置

大沢地区の新たなコミュニティ施設「山田町立大沢ふるさとセンター」と、山田北小学校の閉校に伴い廃止された山田北地区放課後児童クラブを「山田町立山田北コミュニティセンター」として設置する条例改正案が提案され、全員賛成で可決しました。

## ■4年度一般会計補正予算（第6号）

復興事業の事業費確定に伴う国庫返還金の計上、年度末に向けたそれぞれの収入見込み額や執行予定額をもとに予算の調整を行うための補正予算（第6号）が提案され、総額136億555万円となりました。

## ■5年度一般会計補正予算（第1号）

令和5年4月から町内の小中学校の児童生徒の給食費負担を無償とし、ふるさと納税の寄付金（ふるさと応援基金）を財源とする予算の組み替えを行うための補正予算（第1号）が提案され、全員賛成で可決しました。

※この号の金額の記載は、個別の記載がない限り、全て1万円以下切り捨てです。

# 討 論

## 《令和5年度一般会計予算》



よこた たつひさ  
横田 龍寿 議員

賛  
成

山田町民の心を一つに  
町と議会が一丸となって頑張りたい

賛成の立場から、都市型スポーツ等整備促進事業と林産物展示販売施設改修事業の2点を取り上げる。

都市型スポーツ等整備促進事業について、20代の息子・娘さんを持つ親御さんからこう言われる。「山田町に残りたいと思っても、働く場所と、遊ぶ場所が無い。それで都市部に行かざるを得なくなる。」私個人としては、交通網が発達していることから、遊ぶ場所は都市部に任せて、働く場所、子育て環境の整備をすれば良いと思っていた。スケートボードが東京オリンピックの種目に採用された時から、主に誘客を目的と考え、スケートパークの整備について一般質問していたが、若者の地元定着に一役買う事業としても有為であると気付かされた。一粒で2度・3度とおいしい、そんな事業として育ててほしいと切に願うものである。

次に、林産物展示販売施設改修事業である。はじめ、3者共同のところを管理者候補となったと聞いた時に、てっきり現・道の駅、若手の方、施設管理専門の企業の3者共同だとばかり思っていた。現実には違った。現・道の駅と、新・道の駅の構成員の年齢構成から見ても、このことが先輩方と我々の世代との世代間の争いに発展してしまうのではないかと一時呆然とした。実際、私の肌感覚ではあるが、世代間で溝が出来かけていると感じており、心を痛めている。そこで、この状況を打破するために何ができるのか。やはり端的には、現・道の駅が再度、道の駅の指定を取ることである。新年度予算は新・道の駅の予算が際立っているが、私はあえて、林産物展示販売施設改修事業を取り上げる。佐藤町長は、再度道の駅の指定を目指すと言明した。そしてそれを有言実行する新年度予算である。原則、1市町村1道の駅であり、前途多難ではあるが、当町は無料区間のハイフインターをフル化する全国初の自治体である。山田町民の心を一つに保つため、町当局、議会一丸となって頑張りたい、心の底からそう思うものである。